



☆☆今月の展示☆☆

＜防災の本＞ 9/1は防災の日
地震発生時、真っ先に取りのべき行動とは？
発災時、子どもや高齢者と避難する方法は？
あなたとあなたの大切な人を守るために、日頃から
備えるべきことを学んでおきましょう。



新聞紙で作れる防災グッズ展示中！！



＜月にまつわる本＞

今年の十五夜(中秋の名月)は9/17(火)です。
空気が澄んで一年で最も月が美しく見える日です。
昔から神秘的な存在として親しまれている月について知ろう！



＜職業・進路に関する本＞

進路を考える上で参考になる本を集めました。
読みやすくて勉強になるお仕事小説も展示しています。
・『将来の夢さがし！職業ガイド234種「なりたい！」が見つかる』
・『5分でわかる10年後の自分 2030年のハローワーク』
・『仕事を選ぶ 先輩が語る働く現場64』
・『あこがれ仕事百科』
・『天職攻略大図鑑 王様からの求人票』
・『日本の給料＆職業図鑑』



☆同時に、みなさんのなりたい職業や夢を聞いています♪書いてね～。



お知らせ

秋の読書月間に向けてポスターを描いてくれる人を募集しています！

描きたい人、詳しく聞きたい人は宮原まで。お礼あります。

お知らせ

もうすでに気付いてくれた人もいますが、
図書室の整理とリニューアルを行いました。どこが変わったかわかるかな？

- ①分類サインが見やすくなりました。
本が探しやすくなります。
- ②本が棚の奥にいかないよう、空き箱でストッパーを作りました。
背表紙が揃って見やすくなります。
- ③文庫コーナーもすっきり！
- ④カウンター裏が絵本コーナーになりました。
ベンチもあります♪
- ⑤貸出カードが個別になりました。



結果発表

学年対抗！「本を借りてかき氷を完成させよう」

1位	1年生	68冊
2位	3年生	66冊
3位	先生チーム	35冊
4位	2年生	34冊

参加してくれてありがとう～☆



ちょっと一息♪今回のテーマ♪
①連想ゲーム【9月と言えば…】
②最近食べて美味しかったもの♪

誰でも参加できます！

お知らせ

相互貸借コーナーの本を入れ替えました！
10月31日まで展示します。
下中の本とは別に借りることができるので、ぜひ読みたい本があったら借りてくださいね。

累計貸出し状況

4月12日から8月30日まで

学年	1年生	2年生	3年生
貸出冊数	169冊	117冊	272冊

お願い

夏休み前に借りた本は、早く返しましょう！！

「みんなが夏休み中に読んで良かったなあと思った本コーナー」裏面→

みんなが夏休み中に読んで良かったなぁと思った本コーナー

No.1



「それゆけ、天才」 ぷりっつ／KADOKAWA

YouTubeチャンネル登録者数100万人超えのゲーム実況者・ぷりっつ。そんな彼の幼少期から現在までのヒストリーから、普段の動画や配信では描かれない真面目な話までを綴ったエッセイ集。



「ライオンのおやつ」 小川糸／ポプラ社

若くして余命を告げられた雫は、瀬戸内の島のホスピスで残りの日々を過ごすことを決めた。そこでは毎週日曜日、入居者がもう一度食べたい思い出のおやつをリクエストできる「おやつの日」があった…。毎日をもっと大切にしたいくなる物語。



「あの日の交換日記」 辻堂ゆめ／中央公論新社

先生、聞いて。私は人殺しになります。お願いだから、じゃましないでね? (「教師と児童」)。嘘、殺人予告、そしてとある告白…。大切な人のために綴られた七冊の交換日記。そこに秘められた、驚きの真実と感動とは?



「舟を編む」 三浦しをん／光文社

出版社営業部から辞書編集部へ引き抜かれた馬締光也は、運命の女性と出会う。そして新しい辞書「大渡海」の完成へ向け、個性的な面々との航海が始まった。不器用な人々の思いが胸を打つ本屋大賞受賞作!



「君がいなくなるその日まで」 永良サチ／スターツ出版

心臓に病を抱え生きることを諦めていた高校2年生の舞は、入院が長引き暗い毎日を送っていた。そんな時、病院で同じ病気を持つ同い年の男子、慎に出会う。慎に惹かれ、明るさを取り戻していく舞だったが、慎の病状が悪化し命の期限が迫っていることを知る…。



「とりかえばや物語」 田辺聖子／文藝春秋

男の子みたいな姫君「春風」と、女の子みたいな若君「秋月」が繰り広げる痛快平安ラブコメディ。「ああ、このふたりをとりかえられたらな……」という父・権大納言の願いもむなしく、ついに二人は正体を隠して宮中デビュー!! 春風は帝のおぼえめでたく出世街道まっしぐら、秋月は女東宮の尚侍として寵愛され後宮の花となって……。偽りの生活はどこまで続くのか!?



「近畿地方のある場所について」 背筋／KADOKAWA

はじめまして。背筋と申します。この本に収録されている様々な文章は、オカルト雑誌に掲載する特集のために、ライターの私と、編集者で、友人である小沢くんの手によって収集されたものです。それらは、近畿地方の「ある場所」に関連した文章で…。どうか皆さんこの本をお読みいただき、情報をお持ちの方はご連絡ください。



「線は、僕を描く」 砥上裕将／講談社

墨と水。そして筆だけで森羅万象を描き出そうという試み、水墨画。深い喪失の中にあった大学生の青山霜介は、巨匠・篠田湖山と出会い、水墨画の道を歩み始める。湖山の孫娘・千瑛ら同門の先輩をはじめ、素晴らしい絵師との触れ合いを通し、やがて霜介は命の本質へと迫っていく。



「ヒロシマ消えたかぞく」 指田和／ポプラ社

あの日、ヒロシマに落とされた、たった一発の原子爆弾が、笑顔にあふれた6人家族、鈴木六郎さん一家を消し去った。太平洋戦争末期の昭和20(1945)年8月6日まで、確かに生きていた家族の記録。



「コンビニたそがれ堂」 村山早紀／ポプラ社

駅前商店街のはずれ、赤い鳥居が並んでいるあたりに、夕暮れになるとあらわれる不思議なコンビニ「たそがれ堂」。大事な探しものがある人は、必ずここで見つけれられるという。今日、その扉をくぐるのは…? 慌しく過ぎていく毎日の中で、誰もが覚えのある戸惑いや痛み、矛盾や切なさ。それらすべてをやわらかく受け止めて、昇華させてくれる5つの物語。



「真夜中のメンター 死を忘れるなかれ」 北川恵海／実業之日本社

昔、音楽喫茶だった場所に、アダムソンの事務所兼自宅がある。彼はメンター。話を聞き、受け止め、時にアドバイスをする。自殺志願少年、足を引っ張りた女、闇を抱えた刃物男など個性的な客の相談に、助手のワタソンとともに解決に乗り出すが…。



「恋空」 美嘉／KADOKAWA

高校1年生の美嘉は別のクラスの男子・ヒロと知り合う。夏休み中、連絡をとっていた2人は、2学期に初対面を果たすことに。派手な外見のヒロに驚く美嘉だったが、優しい彼に惹かれていき…。そして恋人同士になった2人には、過酷な運命が待ち受けていた。



「ナミヤ雑貨店の奇蹟」 東野圭吾／KADOKAWA

悪事を働いた3人が逃げ込んだ古い家。そこはかつて悩み相談を請け負っていた雑貨店だった。廃業しているはずの店内に、突然シャッターの郵便口から悩み相談の手紙が落ちてきた。時空を超えて過去から投函されたのか? 3人は戸惑いながらも当時の店主・浪矢雄治に代わって返事を書くが…。次第に明らかになる雑貨店の秘密と、ある児童養護施設との関係。悩める人々を救ってきた雑貨店は、最後に再び奇蹟を起こせるか!?



「偉大なるしゅららぼん」 万城目学／集英社

高校入学を機に、琵琶湖畔の街・石走にある日出本家にやって来た日出涼介。本家の跡継ぎとしてお城の本丸御殿に住まう淡十郎の“ナチュラルボーン殿様”な言動にふりまわされる日々が始まった。実は、日出家は琵琶湖から特殊な力を授かった一族。日出家のライバルで、同様に特殊な「力」をもつ棗家の長男・棗広海と、涼介、淡十郎が同じクラスになった時、力で力を洗う戦いの幕が上がる…!

夏休み明け、図書室に来てくれた生徒、先生方に聞いてまとめました。

まだまだありますが今回はここまで。No.2に続く・・・お楽しみに♪